

社会資本総合整備計画 事後評価シート

岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出

北海道岩見沢市

平成27年度

計画の名称	1 岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出																																																																			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	北海道、岩見沢市																																																													
計画の目標																																																																				
魅力あるまちなか居住環境の創出 中心市街地の人口増加																																																																				
計画の成果目標（定量的指標）																																																																				
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における居住者人口増加率 文化・教育・交流施設利用者増加率 																																																																				
定量的指標の定義及び算定式																																																																				
<table border="1"> <tr> <th colspan="10">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="4">備考</th> </tr> <tr> <th colspan="10"> <table border="1"> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H23末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td colspan="3">住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>127%</td> </tr> </table> </th> <th>※中間目標は任意</th> </tr> <tr> <td colspan="10"> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>2,443百万円</td> <td>A</td> <td>2,309百万円</td> <td>B</td> <td>0百万円</td> <td>C</td> <td>134百万円</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>5.5%</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>											定量的指標の現況値及び目標値										備考	<table border="1"> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H23末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td colspan="3">住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>127%</td> </tr> </table>										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)	住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)			100%		104%	旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率			100%		127%	※中間目標は任意	<table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>2,443百万円</td> <td>A</td> <td>2,309百万円</td> <td>B</td> <td>0百万円</td> <td>C</td> <td>134百万円</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>5.5%</td> </tr> </table>										全体事業費	合計 (A+B+C)	2,443百万円	A	2,309百万円	B	0百万円	C	134百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.5%
定量的指標の現況値及び目標値										備考																																																										
<table border="1"> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H23末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td colspan="3">住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td>127%</td> </tr> </table>											当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)	住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)			100%		104%	旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率			100%		127%	※中間目標は任意																																										
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)																																																																		
住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)																																																																				
100%		104%																																																																		
旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率																																																																				
100%		127%																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>2,443百万円</td> <td>A</td> <td>2,309百万円</td> <td>B</td> <td>0百万円</td> <td>C</td> <td>134百万円</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>5.5%</td> </tr> </table>										全体事業費	合計 (A+B+C)	2,443百万円	A	2,309百万円	B	0百万円	C	134百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.5%																																																
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,443百万円	A	2,309百万円	B	0百万円	C	134百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.5%																																																										
事後評価																																																																				
【事後評価の実施体制・実施時期】																																																																				
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">〇実施体制</td> <td rowspan="2">岩見沢市中心市街地活性化基本計画のフォローアップとの整合を図りながら、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、目標値と実績値とに差が出た要因を分析した。</td> <td>〇事後評価の実施時期</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>〇公表の方法</td> <td>岩見沢市公式ホームページ</td> </tr> </table>											〇実施体制	岩見沢市中心市街地活性化基本計画のフォローアップとの整合を図りながら、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、目標値と実績値とに差が出た要因を分析した。	〇事後評価の実施時期	平成27年度	〇公表の方法	岩見沢市公式ホームページ																																																				
〇実施体制	岩見沢市中心市街地活性化基本計画のフォローアップとの整合を図りながら、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、目標値と実績値とに差が出た要因を分析した。	〇事後評価の実施時期	平成27年度																																																																	
		〇公表の方法	岩見沢市公式ホームページ																																																																	
1. 交付対象事業の進捗状況																																																																				
交付対象事業																																																																				
A 基幹事業																																																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																																																						
								H22	H23	H24	H25	H26																																																								
1-A-1	住宅	一般	岩見沢市	間接	民間企業	3・5地区優良建築物等整備事業	賃貸住宅の整備 14戸(調査設計のみ)						10																																																							
1-A-2	住宅	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市	生涯学習センター地区暮らし・にぎわい再生事業	生涯学習センター 延床面積 7,859.18㎡						2,106																																																							
1-A-3	住宅	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市	ボルタ地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生 延床面積 40,833.54㎡						193																																																							
合計													2,309																																																							
B 関連社会資本整備事業																																																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																																																				
										H22	H23	H24	H25	H26																																																						
合計																																																																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考																																																						
C 効果促進事業																																																																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																																																				
										H22	H23	H24	H25	H26																																																						
1-C-1	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業	—	岩見沢市中心市街地活性化事業	賃貸住宅の建設補助、イベントなどのソフト事業に対する補助など民間の事業に対して補助する。	岩見沢市						32																																																					
1-C-2	活動支援	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市		中心市街地空き物件活用促進事業	中心市街地内の空き物件の利活用に関する窓口を設けて調査・相談業務を実施するとともに、空き物件の店舗等への改修費用を補助する。	岩見沢市						45																																																					
1-C-3	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業		商業業務集積地区活性化事業	エリアマネジメントチームが取り組むボルタビルの再生及び再生したボルタビル交流空間での企画運営を支援する。	岩見沢市						47																																																					
1-C-4	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業		商店街後継者対策事業	若者が商店街に関わる仕組みづくりとして、インターンシップの実施やリーダーの育成、起業塾などを開催を支援する。	岩見沢市						10																																																					
合計													134																																																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考																																																						
1-C-1	賃貸住宅建設事業、景観整備事業、イベント事業等の様々な民間による事業が実施されることにより、中心市街地の住環境の向上が見込まれるとともに、基幹事業により整備される施設の地理的の魅力も向上し、居住人口の安定化や利用者数の増加が図られる。																																																																			
1-C-2	中心市街地の空き物件活用に関する相談、支援を行うことにより、空き店舗、空き家、空き地の解消が図られ、利便性の高い住環境を創出され、居住人口の増加につながる。																																																																			
1-C-3	エリアマネジメントチームが空きビル再生に係るソフト事業をはじめ中心市街地全体を見据えた各種事業を展開することにより魅力あるまちなかが居住環境の創出が図られる。																																																																			
1-C-4	中心市街地の課題である商店街の後継者対策に取り組むことで、商店街の持続性の確保と魅力向上を図り、市民要望の高い“魅力的な店舗や飲食店”のあるまちなか居住の環境を創出し、居住人口の増加につなげていく。																																																																			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の発現状況

本計画の基幹事業であるポルタビルについては、商業機能に市民交流機能を加える形で平成24年4月に再生オープンし、また、同じく基幹事業である生涯学習センターが平成25年4月にオープンとなり、魅力あるまちなか居住環境の創出に寄与することができた。定量的指標である生涯学習センターの利用者増加率は最終目標値を大きく超えたが、基幹事業である3・5地区優良建築物等整備事業は計画期間内に完了せず、もう一つの定量的指標である居住者人口増加率は、最終目標値を達成することができなかった。

二、地理的指標：建築與地

住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率

最終目標値

101%

実績値に
差が出た
理由

中心市街地居住者人口は、毎年12月末の住民基本台帳の数値を用いている。

当初現況値（H22）から最終実績値（H26）の推移は次の通りで、平成21年12月を100%とした場合の増加率は、最終目標値である104%に至らず101%の増加にとどまった。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
居住者人口	4,657	4,653	4,677	4,703	4,664	4,690
増加率（H21=100）	100	100	100	101	100	101

計画当初時点を上回ったものの最終目標値を下回った要因としては、当市の総人口が減少傾向にあることが考えられる。計画当初の平成21年12月には90,970人であった総人口は、平成26年12月までの5年間で86,054人に減少（△4,916人）、5.4%の減少率となっており、中心市街地内においても、総人口同様の減少傾向が現れたものと推測される。

一方で、土地区画整理事業が実施された駅北地区の人口についてみると、次表のとおり5年間で110人が増加しており、当該事業の効果が現れたものと言える。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
駅北地区人口	692	681	756	738	750	802
増加率（H21=100）	100	98	109	107	108	116

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
居住者人口	4,657	4,653	4,677	4,703	4,664	4,690
増加率（H21=100）	100	100	100	101	100	101

計画当初時点を上回ったものの最終目標値を下回った要因としては、当市の総人口が減少傾向にあることが考えられる。計画当初の平成21年12月には90,970人であった総人口は、平成26年12月までの5年間で86,054人に減少（△4,916人）、5.4%の減少率となっており、中心市街地内においても、総人口同様の減少傾向が現れたものと推測される。

一方で、土地区画整理事業が実施された駅北地区の人口についてみると、次表のとおり5年間で110人が増加しており、当該事業の効果が現れたものと言える。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
駅北地区人口	692	681	756	738	750	802
増加率（H21=100）	100	98	109	107	108	116

一方で、土地区画整理事業が実施された駅北地区の人口についてみると、次表のとおり5年間で110人が増加しており、当該事業の効果が現れたものと言える。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
駅北地区人口	692	681	756	738	750	802
増加率（H21=100）	100	98	109	107	108	116

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
駅北地区人口	692	681	756	738	750	802
増加率 (H21=100)	100	98	109	107	108	116

旧 3 館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）の H21 年度利用者数を 100% とした場合の増加率

最終目標値

176%

実績値に
差が出た
理由

生涯学習センターは旧3館の機能に武道場等の機能を加え、平成25年4月1日にオープンした。年度ごとの利用者数の推移は次表のとおりで、平成26年度の利用者数は平成21年度の利用者数を100として176となっており、最終目標値である127%を大きく上回った。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
利用者数	69,782	67,069	62,310	60,347	105,276	122,633
増加率（H21=100）	100	96	89	86	151	176

生涯学習センターの所要室毎の利用者数をその機能により振り分けると次ようになる。

	旧3館機能	武道場機能	親子学習機能	交流機能 外
H25	76,421	6,783	3,423	18,649
H26	88,830	10,679	4,097	19,027

これにより、生涯学習センターとなつてからの利用者増の要因は、施設・設備が新しくなったことによる旧3館の持っていた研修・学習機能、軽運動機能の利用者増に加え、武道場、親子学習室といった機能の追加による増、ロビーコンサートなど交流メニューの追加による増により、目標を超える利用者数を確保できたためと考えられる。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
利用者数	69,782	67,069	62,310	60,347	105,276	122,633
増加率 (H21=100)	100	96	89	86	151	176

生涯学習センターの所要室毎の利用者数をその機能により振り分けると次のようになる。

	旧 3 館機能	武道場機能	親子学習機能	交流機能 外
H25	76,421	6,783	3,423	18,649
H26	88,830	10,679	4,097	19,027

これにより、生涯学習センターとなってからの利用者増の要因は、施設・設備が新しくなったことによる旧3館の持っていた研修・学習機能、軽運動機能の利用者増に加え、武道場、親子学習室といった機能の追加による増、ロビーコンサートなど交流メニューの追加による増により、目標を超える利用者数を確保できたと考えられる。

	旧3館機能	武道場機能	親子学習機能	交流機能 外
H25	76,421	6,783	3,423	18,649
H26	88,830	10,679	4,097	19,027

これにより、生涯学習センターとなってからの利用者増の要因は、施設・設備が新しくなったことによる旧3館の持っていた研修・学習機能、軽運動機能の利用者増に加え、武道場、親子学習室といった機能の追加による増、ロビーコンサートなど交流メニューの追加による増により、目標を超える利用者数を確保できたためと考えられる。

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

効果促進事業として実施した中心市街地活性化事業においては、民間賃貸住宅の建設費補助を５年間で８棟、４５戸に対して実施し、中心市街地の人口増加を図った。また、同じく中心市街地活性化事業によるイベントなどソフト事業に対する補助、空き店舗活用に関する窓口の設置、再生したポルタビルの交流空間の運営支援、商店街の後継者対策の実施などにより、魅力あるまちなか居住環境の創出に寄与することができた。

3. 特記事項（今後の方針等）

計画期間内に完了とならなかった3・5地区優良建築物等整備事業については、民間企業による事業実施を促進するとともに、今後とも民間共同住宅の建設支援等により“住みたいと思う暮らし環境づくり”に取り組んでいく。また、ポルタビルについては、まだ残っている空きスペースの利活用を進めて、ビルの集客力向上、交流機能の充実を図っていく。さらに、空き店舗や空き地の解消等により商店街の魅力を高めて、“ふれあいと交流のある賑わいづくり”に取り組んでいく。

(参考図面)

